

2025年4月～6月
広町緑地イベント予定

4月 4/27 (日) 子供向け「広町ハイキング」

5月 5/ 3 (土) 「新春の野草クッキング」(要予約)
 5/ 4 (日) 「大桐と藤の観賞会」
 5/11 (日) 「豆腐作り教室」(要予約)
 5/17 (土) 「植樹祭」(定員あり)
 5/24 (土) 「春の野草クッキング」(要予約)

6月 6/ 7 (土) 「初夏の野草クッキング」(要予約)
 6/14 (土) 「田植え祭」
 第3・4週末 「初夏のチョウ観察会」

今回お知らせしているイベントは日付が未確定なものもあります。変更もあるかもしれませんので、詳細は広町緑地ホームページのイベント予定でご確認ください。

号外ニュース

＜ボランティア説明・体験会という取り組み＞

昨年度から、鎌倉広町市民の会の新たな取り組みとして、月一回「ボランティア説明会」を実施してきました。これまでに20数名が参加し、6名の方が新たに里山ボランティア活動に参加してくれました。さらに数名の方が、これから始めてくれそうです。新年度はやや内容を変更する予定ですが、これからも体験イベントを継続します。少しずつの時間でもかまいません。一緒に、広町緑地を作っていきましょう！



畑に鳥除けネットをかけるのも大勢の協力あってのことです。

フクロウの棲む、ゆたかな森を次世代へ
 広町の森市民の会の取り組みを伝える☆
第69号
広町からの風
 HIROMACHI karano KAZE



鎌倉山から団旗を掲げて未来を見据える子供たちとそれを見守る先輩とお母さん。カッコいい。これを未来です。

いろいろできます広町緑地



＜自然の中でリフレッシュ！＞

広町緑地では、田んぼや畑、園路や樹木の管理、生き物の観察など、多様な活動があります。ふだん、デジタルなものに囲まれてお疲れのアナタ！自然のなかで体を動かして、リフレッシュしてみませんか。

活動に子連れで参加している方もいます(※注)。子どもにとってプラスになることが、たくさんあります。
 ・いろいろな生き物に出会えます(詳しい人から教えてもらえることも！)
 ・お米や野菜がどんなふうに育つか、知ることができます
 ・多世代での交流があります
 ・親の働く姿を見せられます

※注意) お子さんの監督責任は保護者です

活動に参加してみたい方は、右のQRコードからお申し込みください(飛び込み参加も可能ですが、活動内容によっては参加できない場合もあります)。



＜ボランティア説明・体験会が変わります＞
 来年度は日程、内容ともに変更の予定です。詳細は管理事務所までお問い合わせください。0467-32-5112

＜広町緑地管理事務所からの風＞

＜きれいな広町であるために＞

昨秋、広町緑地に自動販売機が導入されました。ボトル缶は持ち帰るか、管理事務所内の回収箱へ、とご案内しています。多くの皆さまは気持ちよく対応くださっていますが、残念ながら時折、捨てられることがあります。また、不法投棄の事例も年に5～6回発生しており、処分に手間と費用がかかっています(投棄物を見かけた際は、管理事務所のスタッフへご連絡ください)。きれいな状態を保つことは、ゴミ投棄への抑止力になります。これからもご協力をお願いします。



メール: info@kamakurahiromachi.org

電話: 0467-32-5112

鎌倉広町の森市民の会ホームページ: <https://kamakurahiromachi.org>

facebook: 鎌倉広町緑地 @kamakurahiromachi

X (旧 Twitter): 鎌倉広町緑地 @hiromachi22

Instagram: 鎌倉広町緑地 @kamakura_hiromachi



【新しいスタッフを紹介します】

1月から事務所に新しいスタッフが入りました。森で、事務所、イベントなどで見かけることができましたらお気軽にお声がけください。どうぞよろしくお願いいたします。



～2024年度を終えてのお約束の進捗状況～

鎌倉広町市民の会は指定管理の提案書にて、大きく以下の6つの項目を、2028年度までの5年間で達成するお約束をしています。5年のうちの1年が終了しましたので、ここまでの進捗と今後の見通しを共有させていただきます。これ以外にも約束はまだあります。全ての約束が書かれた提案書は事務所で見る事ができますので、広町にお越しの際にお声がけください。

- 1** 今回提案した指定管理者の基本理念は、**鎌倉広町緑地の保全・整備を通じ、より良い「都市林と地域」を創る**です。

※都市林とは「主として動植物の生息地又は生育地である樹林地等の保護を目的とする都市公園」のこと

実施中

広町緑地は「主として動植物の生息地又は生育地である樹林地等の保護を目的とする都市公園」という定義の都市林です。この定義に沿って緑地の保全・整備を行いつつ、里山のような、森と人が関わり合う公園として地域の皆様に利用してもらうことを目指して運営中です。
- 2** 提案書のキーワードとしては、**従来からの都市部にある里山**に加えて**森づくり、人づくり**を加えています。

実施中

都市部にある「現代の里山」としての姿は、みなさまの意見をいただきながら模索していくことが大切です。加えて、森づくりだけでなく、関わる人たちを育てていくこと、増やしていくことを行っています。具体的には、ボランティア説明・体験の場の提供に加えて、近隣学校と連携した環境学習プログラムづくりを進めています。
- 3** ①、②を踏まえて、**都市林として自然の保護・再生**します。ただし保護、再生だけでなく「人の営み」につなげて**広町の自然と私たち人間が共に育っていく具体的な仕組みを再構築**します。「 commons = 皆んなのもの」としての「都市林という公園」の再構築をします。

検討中

今の広町緑地は、森と、森に関わっていく人たちの関係が、長く循環し続けるような仕組みが十分ではありません。作業者の高齢化と慢性的な人手不足が長年の課題になっています。人が手を入れることで人に利を生み出すことが目的の里山には、常にたくさんの人手が必要です。この仕組みを構築をします。
- 4** その他の具体的な取り組みとして、**「鎌倉広町の森づくりガイドライン」の作成**、**「鎌倉広町自然再生協議会」の設立検討**、**「(仮称)アドバイザリーボード(専門家集団)の設置運営**等の実施を約束しています。

検討中

広町緑地は、広町緑地基本構想・同基本計画に沿う形で運営されています。これらに沿って広町緑地をどう運営していくのか、独自のガイドラインを作成しています。広町自然再生協議会については検討を保留中です。専門家集団である(仮称)アドバイザリーボード設置の準備を2025年度には開始します。
- 5** 中でもすぐ出来る提案として、**利用者懇話会のセグメント別開催(自治会、教育機関、利用団体等)**、**管理棟内の学習室の来場者の皆様への開放(ビジターセンター化)**等もあります。

実施中

昨年はまでは年一回の懇話会でご意見を伺っていましたが、今年度より近隣自治会、学校などの教育機関、広町で活動する団体など、それぞれに懇話会を開催させていただきました。これによって昨年度までよりもきめ細かく意見を伺うことができています。学習室の開放も始まり管理棟のビジターセンター化も確実に進んでいます。
- 6** 最も必要な日々の地道な努力として、**広報のレベルアップ**、**接客を含めたスタッフのレベルアップ**

実施中

広報については、新たにInstagramを開業、近隣鉄道会社との連携やイベントへの参加を開始しました。これにより、情報へのアクセスがしやすくなり、そして発信の幅も広がりました。加えて、ホームページも広町緑地での活動がよりわかりやすく見られるページになるようにリニューアルを進めています。

地域学校と連携した環境学習の取り組み

広町の豊かな自然を次世代に！

近隣の学校と連携した環境学習に取り組んでいます。2024年度は年間35回、腰越小学校、七里ガ浜小学校、西鎌倉小学校、腰越中学校を中心に、延べ2千人以上の児童と広町での自然体験学習を行ないました。



畑で大豆の種まきをし、大豆の成長を学び、さらに大豆から豆腐を作りました



植物駆除作業を体験し、環境保全について考えます



地元の方とふれあい、歴史や自然を学び、人を知り郷土愛を育みます



自分の手で触り、想いを形にする作業を通じて自然物を観察する力を養います



広町は多くの方のご尽力により残された生きた教材です。これを大切に守り、未来を担う子どもたちに自然を肌で感じてもらって、未知の環境の中で仲間と力を合わせながら創意工夫に挑戦し、生きる力を育てて欲しいと考えています。

広町緑地 第三の出発へのご支援のお願い

<理事長からのメッセージ>

広町緑地では約50年ほど前、住宅開発が進められようとしていました。22万人もの開発反対署名を集め、多くの市民と行政の力を集結し、都市林として保全することができました。『鎌倉広町の森市民の会』は、これらの市民活動の実績を引き継ぐNPO法人です。ここには、亡くなられた方々を含む、多くの広町緑地を愛する人々の想いと期待が込められています。

私たちの活動の基本方針と目指す姿は、法人の定款や市民も参加し策定した「鎌倉広町緑地基本構想」・「鎌倉広町緑地基本計画」に記載されています。そして、私たちの使命はこの言葉に集約されます。

「市民が守った緑を、市民中心の組織で運営する」

8年間にわたり、公園協会と共同で広町緑地の指定管理を担い、多くの学びを得てきました。そして2024年度から、私たちはNPO法人単独での運営を開始しました。これは、未来へ向けた新たな挑戦「第三の出発」です。

第一の出発（約50年前・1973年頃）：開発の危機に立ち向かった時

第二の出発（約20年前・2003年頃）：緑地保全が決定し、里山の再生に取り組み始めた時

「第三の出発」では、広町の動植物達や利用者の皆さんの暮らしが、さらに豊かになるような広町緑地を目指し、人材や緑地・施設の充実が必要です。地域の子供たち、若者、子育て世代、熟年世代、そして長年広町を愛してきた先輩世代——すべての市民が、自然の恵みを感じ、心の安らぎと健康を得られる場として、この緑地を未来へと受け継いでいきたいと願っています。

この緑地を、未来の世代へ。あなたの支援が、豊かな自然と共生する社会の実現につながります。ぜひ、一緒に広町緑地の未来を築いていきましょう！

広町緑地への支援の方法、内容はさまざまあります。右の2次元コードか、市民の会のホームページの「支援のお願い」から詳細をご覧ください。ご支援どうぞよろしくお願いいたします。

<問合せ先> 鎌倉市広町緑地管理事務所内 認定NPO活動法人鎌倉広町の森市民の会
電話：0467-32-5112（8：30～17：15）メール：info@kamakurahiromachi.org
担当：渡邊（070-5082-8856）・須賀



広町緑地基本計画→



子供向け自然体験事業

かまくら緑の探偵団へようこそ！

かまくら緑の探偵団は、子どもたちが広町の豊かな自然の中でのびのびと成長できるように、広町の森市民の会が世話団体としてサポートしている団体です。毎月テーマを変えてさまざまな楽しい自然体験活動を行っています。下は幼児から上は小学生までが中心に参加していますが、ときにOB・OGの中学生や高校生がお手伝いに来てくれて、大人を含めた多世代交流の場にもなっています。

通常のイベントは、団員でなくても、市民の会の会員でなくても、誰でも参加できますが、中には団員しか参加できないものがあります。今回は2024年度に実施した「団員だけが参加できる独自イベント」を紹介します。

<5/3 高学年向け特別企画 チョウの観察会>

木登り隊の斉藤さんを先生に初夏のチョウを探しました！



つかまえられた？



なんてチョウだろう？？



網も特別なやつ！ちゃんとたむよ◎

<8/14 湯河原幕山冒険ツアー>

初の他団とのコラボ企画◎ 湯河原の幕山少年団を訪ねて大冒険！



岩を越えて！



川の中を進んだよ！

<2024年度神奈川県緑の少年団交流集会>

年に一度、神奈川県下の少年団・探偵団が一同に会する交流集会に参加！



夜の虫さがしもしたよ！

2024年は足柄少年団主催で足柄山で1泊2日のキャンプでした！



やっぱりカレーづくり😊

<8/24 広町デイキャンプ>

夏休みに広町でワンデイキャンプ！



広町に隠されたカレーの材料を探しました😊



スイカ割りをしたり 水鉄砲を作ったり

<2025/2/26 極楽寺→広町 ミステリーウォーク>

極楽寺から広町の鎌倉山入口を目指してクイズラリーをしながらオリエンテーリングを敢行！



お墓もみんなと一緒ならこわくない◎

今回最大のミステリー！



この地図が頼り！

みんなだんだん離れていく...でも地図があるから大丈夫◎



途中絶景に言葉を失う団員たち



無事に全員クリア！またやろうね！

いかがだったでしょうか？今回紹介した企画を「おもしろそう！」と思われたらぜひ入団をご検討ください。入団のご希望は広町緑地管理事務所までお願いします。2025年度のかまくら緑の探偵団もお楽しみに。広町で会いましょう！

